

男女共同参画誌 **ハンド&ハンド**



まちに無くてはならない消防組織。発足5周年を迎える越生女性消防団員取材しました。女性団員の消防活動をご覧ください。

消防団ってどんな組織？

Q…消防団って何？

A…消防団は、「自分たちのまちを自分たちの手で守る」という理念のもとに、地域住民の生命・身体・財産を守るために、市町村が、消防組織法第9条に基づいて、設置している消防機関の一つです。

消防団は、消防署と協力して、火災、災害及び人命の救助救出に活動するとともに、火災予防などの啓発普及活動を行います。消防団員は、それぞれ自分の仕事を持ちながら地域防災の担い手として、地域に密着して活動し、住民の安全と安心を守るという重要な役割をもっています。



◀地域における救命講習の様子

▶西入間救命体操

Q…消防団は何をやっているの？
A…地域で災害が発生したら、消防活動や救助活動などを行います。

災害などが起きたら：

地域住民の生命や財産を守るために次のような活動をしています。

男性消防団員の場合

- ①火災が発生した時の消火活動、現場における警戒活動。
- ②地震や風水害といった大規模災害発生時には、救助救出活動、警戒巡視、災害防衛活動
- ③このほかにも、水難、山岳救助活動、行方不明者の搜索。

女性消防団員の場合

- ①火災、地震等の発生時における本部補助。情報収集、各部隊への連絡。
- ②避難所における、女性の視点からの避難者に対する援助。



▲救命の輪 Tシャツ



普段は：

様々な活動を通じて、地域の消防力・防災力の向上に貢献します。

①消防・防災に関する知識や技術を習得するための訓練。

②地域の皆さんに対しての各種訓練の指導

③災害危険のある箇所の把握

④そのほかにも、年末夜警や夜回り、花火大会での警戒、資機材の点検、広報活動、自主防災組織に対する協力・指導、応急手当の普及指導、消防団の庶務（業務計画の策定、経理事務、団員募集、広報紙の作成）など。

Q…女性消防団員のこれまでの主な活動は？

A…土砂災害ハザードマップの作製（越生町役場ロビーに掲示）や、救命講習の動作を楽しく覚えてもらえるように西入間支部（毛呂山・鳩山・越生）の女性団員達で考えた「西入間救命体操」をさまざまなイベントで披露しています。他にも、越生町産業祭での住宅用火災報知器の周知などの広報活動も行っています。

▼土砂災害ハザードマップ

